

- 1 目的
東日本大震災から11年、山形県内でも2年前の豪雨災害などで大きな被害に遭遇した。防災・減災の意識を高める教育が大切である。特に次世代を担う若者の防災意識と社会参画意識の育成が必要である。これからの担い手である高校生に対話と実践を通し「助けられる」から「助ける」への意識を育む。
- 2 主催 山形県青年の家
- 3 協力 山形県防災くらし安心部防災危機管理課
- 4 対象 県内の高校生 40名程度 ※各校2名程度
(3密対策への対応と多くの学校からの参加の両立を図る。)
- 5 会場 山形県青年の家(天童市小路一丁目7-8)
- 6 期日 令和4年3月12日(土)
- 7 講師 【ワークショップ】
宮城教育大学311いのちを守る教育研修機構 協力研究員
東北大学非常勤講師 元宮城県石巻西高校校長 齋藤 幸男 氏
【講演】
山形県防災くらし安心部防災危機管理課 防災教育推進主幹 古川 昭彦 氏
- 8 内容
(1) 講演「災害時、何が必要か?」40分
(2) ワークショップ①「避難所運営の実際と教訓」120分
(3) ワークショップ②「災害初動期からの対応」90分
(4) 若者からのメッセージ(提言)
「災間を生きる者として～命と向き合い、いのちをつなぐ防災～」30分
(5) 防災ミニツアー(避難所用ベッド・テント・非常食・パネル等の紹介)
- 9 日程
9:00 受付開始(ロビー)
9:30 オープニング(体育館)
9:40 講演(体育館)
10:20 ワークショップ①(体育館)
12:20 昼食休憩
13:00 防災ミニツアー
13:30 ワークショップ②(体育館)
15:00 若者からのメッセージ(体育館)
15:30 振り返り、アンケート記入(体育館)
15:45 クロージング(体育館)
16:00 解散
- 10 参加費 490円(昼食代、保険料)
- 11 持ち物 筆記用具、内履き
- 12 申込 別紙申込書に記入のうえ、FAXまたはメールで申し込んでください。[締切2/25(金)]学校等団体としての申込の場合は、まとめて申し込んでください。
- 13 新型コロナ感染対策
(1) 研修会当日、発熱(37.5℃以上)や風邪症状のある方は、連絡していただき参加を控えてください。
(2) 新型コロナウイルス感染症予防のため、受付用のチェックシートを事前に記入して、提出していただきます(詳細は申込後にご案内いたします)。
(3) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によっては、開催中止、または開催日程の変更がございます。その際はメール等で直接連絡いたします。
(4) 参加される方はマスク着用とともに、咳エチケットや手洗い等を徹底してください。参加者同士の距離を1~2m空けて活動してください。
(5) 新型コロナ感染拡大の状況によっては、内容の変更や中止をする場合がございます。その時は別途連絡いたします。
- 14 その他
(1) 当日撮影する写真は、HPに掲載したり記録用資料として活用させていただいたりすることがあります。予めご了承ください。
(2) 3月7日(月)午後5時以降のキャンセルは、昼食代・保険料を実費で負担していただきます。

〔連絡先〕山形県青年の家

担当：研修課 沼澤、柴田、鈴木

TEL：023-654-4545

FAX：023-652-2007

E-mail：yseinen@pref.yamagata.jp